



# ネズミ駆除作業の補足説明

アイリスのネズミ駆除方法の補足資料です。お問い合わせ、お見積もりをされる際にご参考ください。

<http://www.pco-iris.co.jp>

## 侵入経路チェックポイントについて

### ★外壁にあるネズミの侵入口を徹底的にチェックする

床下通風口・換気扇回り・給気口・排気口・戸袋の内部・ガス管や水道管エアコン配管の引き込み口・基礎コンクリートと外壁との間・基礎コンクリートの崩れや隙間壁と屋根との隙間・ドアの上下の隙間・壁は崩れていないか・穴はないか・地面に穴は無いか・シャッターは外付けか（天井裏で巻き取り式なら収納庫が密閉されているか）・巻き取りチェーンは収納庫の外部になっているか・壁付けの郵便ポストは蓋はパネ式か・有線放送や光りファイバーが壁に這わせてないか・電線や雨樋やベランダの柱は侵入口になっていないか・屋根は大丈夫か・蔦などの植物が壁に這ってないか・樹木の枝が屋根やベランダに接触してないか・壁に物が立て掛けられていないか・その他にも沢山のチェックポイントがあります。

## ネズミの集中捕獲について

### ★粘着シートによるネズミの集中捕獲作業

ネズミは一日に体重の1/4～1/3の食べ物を食べます。飢餓には極めて弱く、水や食べ物が無ければ3～4日で死んでしまいます。このネズミの弱点を利用して3～5日間、継続してネズミの行動を制限するように粘着シートを敷きます。敷き方はコーナーや中央部、縦・横・斜めに連続してすき間なく飛び越されないように2列～3列づつ粘着シートを敷きます。また什器やテーブル、物品等の上にもスポット的に敷設します。1m<sup>2</sup>当たり0.5～1枚の粘着シートを敷設すると、生息するネズミの80～90%が捕獲されます。初日には警戒心の薄い子ネズミが捕獲されますが、警戒心の強い大型のネズミも2日目になると空腹に耐えられず隠れていた場所から出て来て水や食べ物を探し回るうちに粘着シートに捕獲されてしまいます。大きなビルや、地下街、飲食店、大きな食品倉庫などでは、数百枚の粘着シートを使用して、閉店後から翌朝従業員が出勤して来るまでの間に行います。

## 詳しい殺そ剤の説明について

### ★殺鼠(そ)剤の種類と毒性

- ①ワルファリン
- ②クマテトラリル
- ③シリロシド
- ④ジフェチアロン
- ⑤リン化亜鉛
- ⑥プロマジオロン  
(畜鶏舎用殺鼠)

駆除に向けた殺鼠剤とは、人に対する毒性が弱く、ネズミに対して強い毒性を示すものといえるでしょう。現在イエネズミ3種(クマネズミ・ドブネズミ・ハツカネズミ)の駆除用として販売されている主な薬品は左記のものになります。

また、左記以外にも黄燐・硫酸タリウム液・アンツー・ノボルマイト・モノフルオロ酢酸ナトリウム・フマリン等がありますが、これらは人に対する危険性と、食毒剤である以上その効果が喫食性に左右されてしまうため、現在はほとんど使用されなくなって来ています。各業者は毒餌をいかにしてネズミに食べさせるか、常に毒餌剤(ベイト)作りに知恵を絞っております。

### ★市販されている主な殺鼠剤の含有量と使用方法

・そのまま使用するもの

薬剤名	含有率
シリロシド	0.021～1.4
ノボルマイト	1
燐化亜鉛	1～3
硫酸タリウム液	0.3
ワルファリン	0.025～0.1
クマテトラリル	0.025～0.25
フマリン	0.05
ジフェチアロン	0.0025

散粉用または毒餌加工用

薬剤名	含有率
シリロシド	0.51
ノボルマイト	1
ワルファリン	0.1～1
クマテトラリル	0.075
プロマジオロン	0.05

東京都板橋区大山金井町26-3 第一菊池ビル2F

株式会社

# アイリス

<http://www.pco-iris.co.jp>